

RobiZy(農林水産部会) 視察ツアー ～「ものづくりのまち」北九州から学ぶ～

企画

株式会社ロボットコネク
シェアードシステム株式会社
株式会社DEN農

末廣
青木
倉田

視察ツアー概要

- 目的: 1901年の八幡製鐵所から始まった、「ものづくりのまち」北九州で最先端の製造業、それを支える官・学の実践、活用する企業・個人を視察し、ロボットの未来について考える。
- 日程: 4月18日(木)、19日(金)
- 視察場所: 北九州ロボット・DXセンター、九州工業大学 (学研都市他)、合同会社ノーエン、安川電機みらい館、TSUNAGU FACTORY、(有)ICS SAKABE
- 集合場所: 小倉駅(北九州市)
- 費用: 10,000円程度(食費、懇親会費、交通費)
 - ※1 往復の移動手段、ホテルの予約は各自でお願いいたします。
 - ※2 ホテルは小倉駅周辺でお願いいたします。
 - ※3 移動時の車両はレンタカーになりますので、利用料を参加者で割ります。
- 当日連絡先 080-9711-6010 末廣(株式会社ロボットコネクト)
080-2032-1288 青木(シェアードシステム株式会社)

費用想定の内訳

項目	金額(円)	備考
懇親会費	5,000	予定
車両代(駐車場代、ガソリン代含む)	3,500	レンタカー2台+自家用車1台
昼食代	1,500	2日目
合計	10,000	

※現地までの交通費、宿泊費は自費になります。

視察先住所

名称	住所	備考
北九州ロボット・DX推進センター	北九州市若松区ひびきの北8-1 1F	官民連携のDX化推進
合同会社ノーエン	北九州市若松区ひびきの北8-1 1F	農業DX
九州工業大学/学術研究都市	北九州市若松区ひびきの2-4	トマト収穫ロボット
安川電機みらい館	北九州市八幡西区黒崎城石2-1	最新のロボット技術
TSUNAGU FACTORY	北九州市八幡西区黒崎城石3-5	「価値創造型ビジネスモデル構築」の施設
(有)ICS SAKABE	北九州市小倉北区片野新町2-2-21	電気制御技術の追及

スケジュール

日程

4月18日(木)

※昼食は各自でお願いします。

12:20 小倉駅(北九州市)集合

12:40 移動

13:30 北九州ロボット・DX推進センター

14:00 合同会社ノーエン

15:10 九州工業大学

16:00 移動

17:00 小倉駅着

17:45 小倉観光(当日希望者募ります。)

19:00 懇親会(Grilled Pub Booties:福岡県北九州市
小倉北区魚町3丁目1-6)

4月19日(金)

08:50 集合・移動

09:30 安川電機みらい館

11:30 昼食・移動

13:00 TSUNAGU FACTORY

14:00 移動

14:30 (有)ICS SAKABE

15:30 移動

16:00 小倉駅(北九州市)解散

各集合場所

1日目 小倉駅:新幹線出口



2日目 JR小倉駅北口:駐車場



視察マップ

北九州市ロボット・DX推進センター

合同会社ノーエン

TSUNAGU FACTORY

小倉駅

九州工業大学/
学術研究都市

安川電機みらい館

(有)ICS SAKABE



視察内容1日目 北九州市 ロボット・DX推進センター

公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)が運営する、地域の中小企業のニーズに応え、ロボット導入やDX(IoTの導入、業務のデジタル化)推進をワンストップで支援するための施設。

導入支援

ロボット導入支援 ロボット導入を総合的に支援
DX推進支援 専門家を派遣し課題解決を支援
補助金制度 導入費用の一部を補助



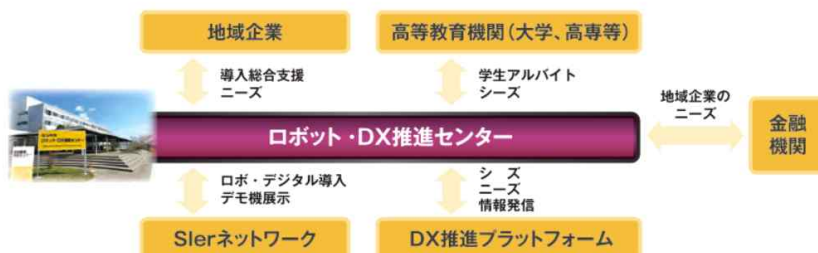
操作体験

産業用ロボット、デジタル機器、ITツールのデモ展示



人材育成

交流会・展示会の実施や協力企業等によるセミナー・説明会も企画



集い・つながりの場

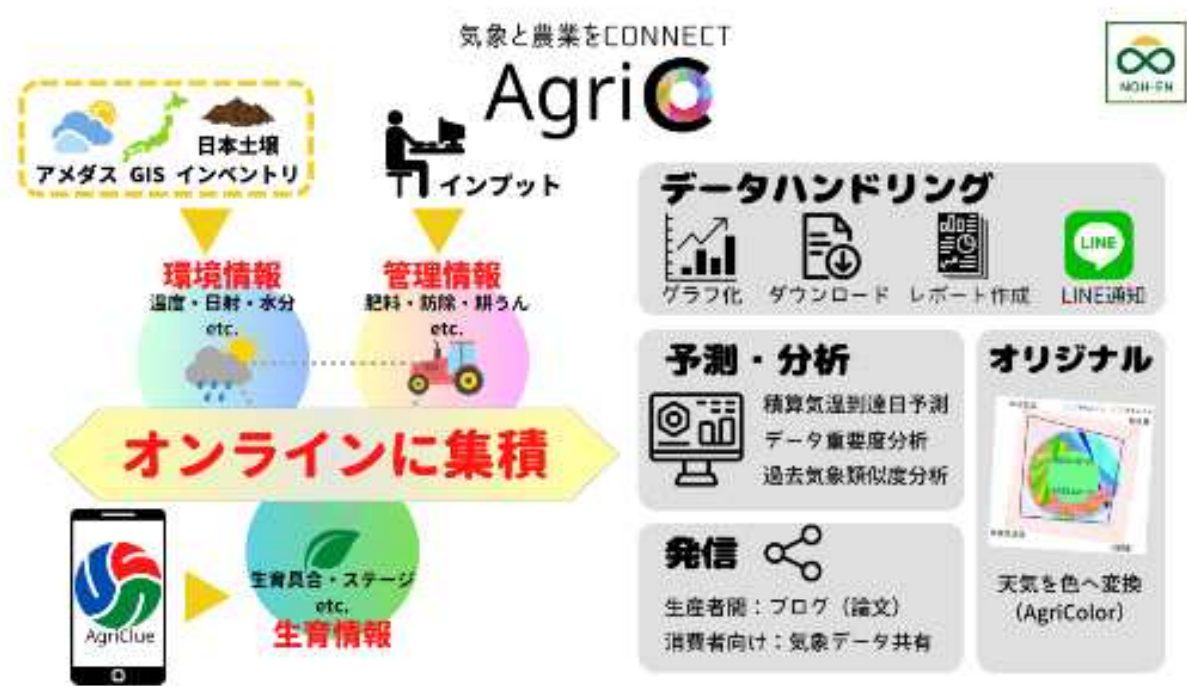
ロボットやIoTの導入、活用等を推進する企業向けの人材育成講座やスクール等を開催



視察内容1日目 合同会社ノーエン

気象と農業を繋つなげるプラットフォーム「AgriC」

AgriC



- ・時系列分析
- ・過去気象データ比較
- ・アナライザー
- ・積算値分析
- ・AgriColor
- ・レポートLINE配信
- ・データダウンロード
- ・AgriClue
- ・AgriCレポート
- ・気象データ共有
- ・圃場レポート

アメダス等のオープンデータを利用してお客様の圃場ピンポイントで気象データを取得します。現場に計測機器を置かないので、面倒なメンテナンス作業は一切ありません。またお申し込みいただくと、気象データから適地適作を診断する「圃場レポート」をお送りします。

視察内容1日目 九州工業大学 社会ロボット具現化センター

モノづくりの基本である工学、応用工学であるロボティクスを通じた研究成果をもとに、新たな可能性を社会に提示し、研究成果の具現化およびロボット市場の開拓を目指す。

トマト収穫ロボット

■九州工業大学 トマト収穫ロボットの取り組み

現在、国内では農業従事者が減少する一方で、その平均年齢は上昇している。各種ある野菜の栽培にかかる労働の負荷を比較すると、トマトの栽培は負荷が高いと言われている。

生産設備の整った菜園の場合、広大な面積で栽培されており、ハウスの中は高温・多湿、さらに実が傷つきやすく、熟れ過ぎるとすぐに破裂してしまうなど、他の野菜に比べて比較的作業時間が長い上に、管理の手間がかかるためだ。

九州工業大学ではこの点に着目し、トマト収穫ロボットを用いた課題解決に2014年から取り組んでいる。

実証を繰り返しながら、ロボットアームや収穫ハンドの改良、トマト検出向上に向けたセンシングシステムの向上など、ハードウェアとソフトウェアの両面から、アプローチを続けている。

画像・参照: 北九州学術研究都市HP

URL: <https://www.ksrp.or.jp/news/archives/2023/12-007992.html>

画像・参照: プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000065567.html>



視察内容2日目 安川電機みらい館/ロボット工場

安川電機みらい館

ものづくりの魅力、そしてロボットの最新技術などを発信する展示・体感・学習施設
ものづくりの楽しさやすごさ、そして最新のロボット技術を伝える。

1F



安川電機の「今」を知る先端技術と未来展望を語る安川電機そのものを感じるラウンジ空間

2F



安川電機のものづくりの凄さを体感する人とロボットの共存を考える参加型のテーマ空間

3F



安川電機の「今」を知る先端技術と未来展望を語る安川電機そのものを感じるラウンジロボットとその技術を「学び・考え・創造する」次世代育成のための産学連携コミュニティーラボ

ロボット工場

第1工場では小型の産業用ロボット、第2工場ではクリーンロボットを製造している。



像・参照: 安川電機HP

URL: <https://www.yaskawa.co.jp/company/robotvillage>

視察内容2日目 TSUNAGU FACTORY

「価値創造型ビジネスモデル構築」の施設として、“モノづくりの街”北九州から、新たなアイデアを生み出し続ける。

官民連携によるマッチング-2024年本格始動

今秋、グループの中核企業である株式会社ドーワテクノスが創立75周年を迎えるにあたり、グループとしてのシナジーを発揮した持続的な成長の実現を目指し、グループの持株会社としてディエラホールディングス株式会社を設立いたしました。1948年に株式会社ドーワテクノスが設立されて以来、アイム電機工業株式会社および株式会社アイム製作所を含むグループ企業で手を取り合い、モノづくりにまつわる生産性や価値の向上、お客様の課題解決を支えるさまざまな事業を展開しております。また、2023年3月には株式会社東亜機器産業を新たにグループへ迎え入れることができました。社名の「ディエラ(DeeRA)」には、「ドーワ(D)とアイム(E)から始動したグループが、新たな時代(eRA)を切り拓く」という想いが込められています。先の見えないVUCA(*)時代において、当社がビジョンとして掲げる「常に先の社会課題をワンストップで解決するサステナブル・パートナー」として存在し、お客様や社会に対して新たな価値を提供し続けることで、さまざまなステークホルダーの皆様方との共創による発展を図りつつ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

3つのTSUNAGU[つなぐ]



技術革新の
きっかけ

「モノづくりの楽しさ、喜びが伝わるワクワクする場所」「もっと気軽に、みんなでモノづくりを楽しめる場所」



創造を越える
出会い

「モノづくりだけでは終わらない」「モノづくりから広がる」



これからの
新しいカタチ

「たくさんの笑顔が生まれる場所」「楽しい未来が生まれる場所」

視察内容2日目 (有)ICS SAKABE(RobiZy会員)

電気制御の専門家として、創業当初より自動車生産ラインの制御に係わり、電気制御に関する技術を追求している。

産業ロボットを使った省人化

ロボットセンター小倉には、各社の人協働ロボット、産業ロボットを準備、各社の産業ロボットが操作可能。当センターでは、各種産業ロボットセミナーを開催している。



新しい感染症対策

九州UVDROBOTSセンターでは、自律走行型紫外線除菌ロボット「UVDROBOTS」を利用する、新しい感染症対策の提案・販売を行っている。



制御機器オーダー制作

装置メーカーで利用する制御基板の設計・制作や自動化装置の開発を行っている。また、装置が動かなくなった時には、技術員を派遣し修理・保守サービスを行っている

